別 紙 2

感染性胃腸炎について

新潟県福祉保健部感染症対策・薬務課

１　流行状況

○　令和５年第１週（１月２日～１月８日）の定点当たり報告数は全県で 2.55 と、前週の 3.30 に比べ減少しました。

○　社会福祉施設における集団発生も報告されていることから、引き続き十分な注意が必要です。

○　調理や食事の前には十分に手を洗うなど、予防を心がけましょう。

２　感染性胃腸炎とは（原因となる主なウイルス等）

	ノロウイルス	ロタウイルス
主な症状	嘔吐、下痢、腹痛、軽度の発熱など	嘔吐、下痢、腹痛、発熱
潜伏期間	１～２日間（平均 36 時間）	１～３日間（平均 48 時間）
経過	通常、３日以内で回復	通常、嘔吐は１～２日、下痢は１週間程度で回復
流行する世代	全ての世代で発生	乳幼児を中心に流行 まれに成人でも集団発生が起こる
治療	特効薬はありません。乳幼児のロタウイルス感染では重症化することがあります。 嘔吐や下痢で脱水症状を起こしやすいため、水分補給をしましょう。	

３　予防方法

○　石けんを用いた流水による手洗いを徹底しましょう。特に排便後、おむつ交換後、また調理や食事の前には十分に手を洗いましょう。

○　便や吐物を処理する時は、使い捨て手袋、マスク、エプロンを着用し、処理後は石けんを用いた流水で十分に手を洗いましょう。

○　カキなどの二枚貝を調理するときは、中心部まで十分に加熱しましょう。
（中心温度 85～90℃で 90 秒以上の加熱が必要です）

４　学校保健安全法における扱い

○　その他の感染症（第三種感染症として扱う場合もある）と定められています。

○　症状のある間が主なウイルスの排出期間なので、下痢、嘔吐症状が軽減した後、全身状態のよい者は登校（園）可能ですが、手洗いを励行することとされています。

【にいがた　食の安全インフォメーション（ノロウイルスによる感染性胃腸炎・食中毒情報】
http://www.fureaikan.net/syokuinfo/01consumer/con02/con02_02/con02_02_05.html